

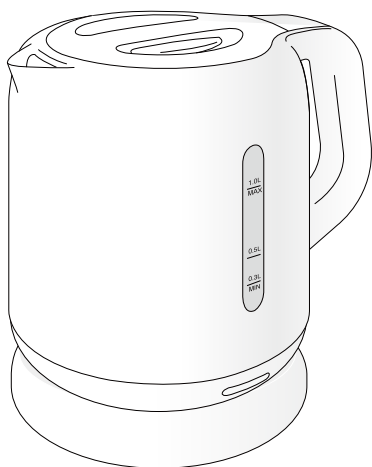


電気ケトル DKE-100

取扱説明書

保証書付

もくじ



- 安全上のご注意…………… ①～③
- 各部の名称…………… ④
- 使いかた…………… ⑤～⑦
- お手入れ…………… ⑦～⑧
- 故障かな?と思ったら…………… ⑨
- 仕様…………… ⑨
- アフターサービスについて…… ⑩
- 保証書…………… 裏表紙

この商品は、海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

家庭用

- 業務用として使用しないでください。
- 他の用途でのご使用はしないでください。
思わぬ事故の原因になります。

- ・このたびは、弊社電気ケトルをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。
- ・ご使用前に、この取扱説明書を必ずよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- ・お読みになった後は、大切に保管してください。

安全上のご注意

必ずお守りください

- お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、安全に関する内容を記載しています。内容をよく理解して記載事項をお守りください。



警告

誤った取り扱いをしたときに死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの



注意

誤った取り扱いをしたときに傷害または物的損害に結びつくもの

図記号の説明



禁止

禁止(してはいけないこと)を示します。具体的な内容は図記号の中や文章で示します。



指示

指示する行為の強制(必ずすること)を示します。具体的な内容は図記号の中や文章で示します。



注意

注意を示します。具体的な内容は図記号の中や文章で示します。

警告



分解禁止

分解・修理・改造をしない

火災・感電の原因になります。修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。



交流100V
15A以上

電源は、交流100Vで定格15A以上のコンセントを単独で使う

交流100V以外で使ったり、コンセントを他の器具と併用すると発熱による火災の原因になります。



禁止

電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものをのせたり、挟み込んだり、加工したりしない

電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。



禁止

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない

感電・ショート・発火の原因になります。



根元まで
差し込む

電源プラグは、根元まで確実に差し込む

感電・ショート・発火の原因になります。



プラグを
抜く

使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く

けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。



禁止

電源プラグを濡れた手で抜き差ししない

感電するおそれがあります。

⚠ 警告



プラグを
抜く

異常時（コゲくさい臭い・電源コードやプラグが異常に熱いなど）は
運転を停止して電源プラグを抜く

異常のまま運転を続けると火災・感電の原因になります。運転を停止して
お買い上げの販売店にご相談ください。



プラグを
抜く

お手入れは電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷えてから行う

感電・けが・やけどをする原因になります。



ホコリを
とる

電源プラグの刃、および刃の取付面にホコリが付いているときは、
乾いた布でふき取る

火災の原因になります。



禁止

本体と電源プレートの接続部にピンを差し込んだり異物を付着させない

感電、ショート、発火の原因になります。



水濡れ禁止

本体や電源プレートを水につけたり、水をかけたりしない

ショート・感電の原因になります。



禁止

子供だけで使わせたり、幼児の手の届く所で使わない

感電・けが・やけどの原因になります。



禁止

湯沸かし中や湯沸かし直後は、ふたを開けない

湯が流れ出て、やけどのおそれがあります。



禁止

ケトルを傾けたり、ゆすったり、転倒させない

湯が流れ出て、やけどのおそれがあります。



禁止

満水目盛（MAX）以上の水を入れない

感電したり、けが・やけどのおそれがあります。



禁止

直火や電熱器、IH調理器などの上にのせない

火災の原因になります。



禁止

空だきしない

水が入っていない状態で電源を入れると故障や火災の原因になります。

⚠ 注意



プラグを
持って抜く

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たず、必ず電源プラグ
本体を持って引き抜く

コードがショートや断線して感電・火災の原因になります。



禁止

専用の電源プレート以外は使用しない

故障、発火の原因になります。



禁止

付属の電源プレートを他の機器で使わない

感電、ショート、発火の原因になります。



禁止

ガスコンロなどの熱源の近くや直射日光の当たる場所で使用しない

感電、ショート、発火の原因になります。



禁止

不安定な場所やビニールクロスなど熱に弱い敷物の上、カーテン
など可燃物の近くでは使わない

変色・変形・火災の原因になります。



禁止

壁や家具・他の電気機器に蒸気が当たる場所で使用しない

蒸気や熱で壁や家具を傷めたり、電気機器の発火・故障の原因になります。



禁止

牛乳を沸かしたりスープをつくるなど、湯沸かし以外の目的で
使わない

ふきこぼれて、やけどをしったり故障の原因になります。



禁止

湯沸かし中や湯沸かし直後に、注ぎ口に触れたり、蒸気に手や顔を
近づけない

やけどのおそれがあります。



禁止

湯沸かし中は、移動させない

蒸気や熱で壁や家具を傷めるおそれがあります。



禁止

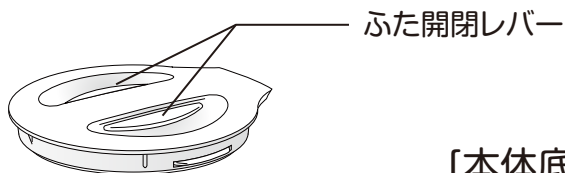
屋外や湿気の多い場所で使用しない

感電したり故障の原因になります。

- 本製品に保温機能はついていません。
- 本製品は、一般家庭用です。業務用にはお使いにならないでください。

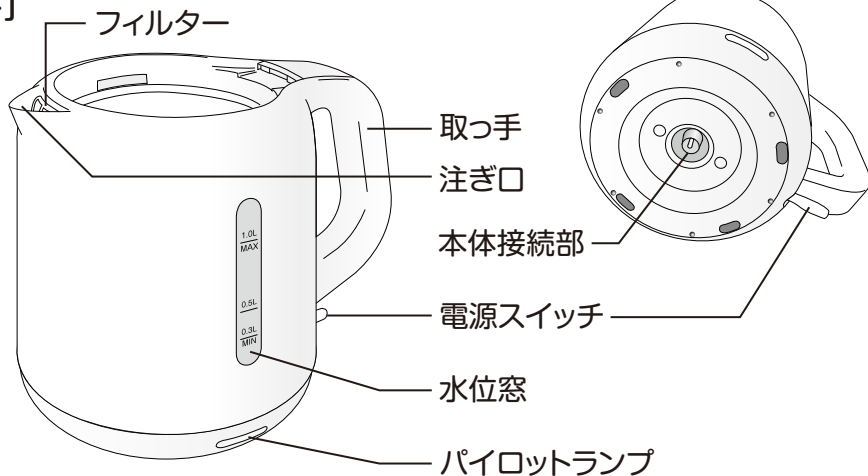
各部の名称

[ふた]

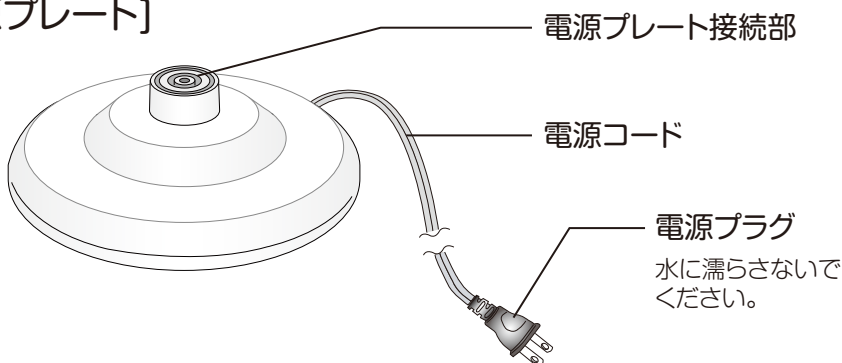


[本体底面]

[本体]



[電源プレート]



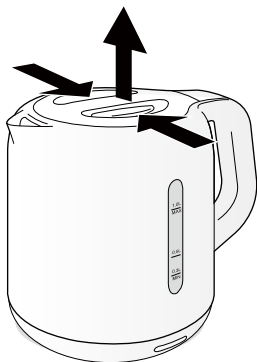
【ご使用上の注意】

- 本体・電源プレートの接続部を水に濡らしたり、金属物など異物を入れないでください。感電・ショートの原因になります。
- ふたやフィルターは、必ず装着してください。装着しないと、お湯が沸いてもスイッチが切れないことがあります。

使いかた

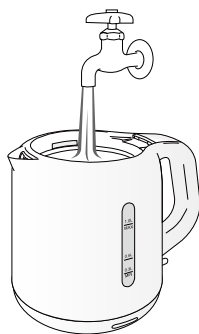
—水を入れる—

1 ふたを開ける



- ふたの左右にある開閉レバーを押しながらふたを上を持ち上げます。
- 初めてケトルを使用するときや、長期間使用しなかったときは、2～3回程度すすいでからご使用ください。

2 水を入れる



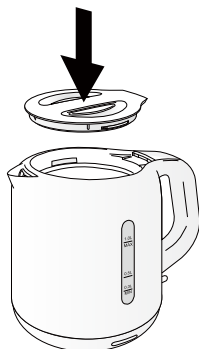
必要な量の水を入れてください。



注意

- 満水目盛 (MAX) 以上の水を入れしないでください。
- 100mL以下の水量で沸かさしないでください。また、空だきをしないでください。
- ミネラルウォーターなどを沸かすとミネラル成分がケトル内部に付着しやすくなります。
- 電源プレートに本体をのせた状態で水を注がないでください。
- 流し台に置いたりして、底面を濡らさないでください。
- 水以外のものを沸かさしないでください。

3 ふたを閉める



ふたを「カチッ」と音がするまで上から押してください。



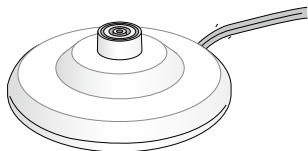
注意

- ふたは、確実に閉めてください。閉まっていないと、お湯が沸いてもスイッチが切れないことがあります。
- フィルターは、必ず装着してください。装着しないと、お湯が沸いてもスイッチが切れないことがあります。

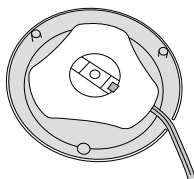
使いかた

—お湯を沸かす—

1 電源コードをセットする



電源プレート裏面

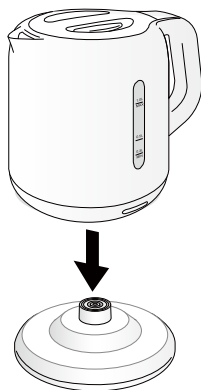


- 電源コードを電源プレート裏面に巻き付けて長さを調節します。
- 電源コードを切り込みにセットしてください。

2 電源プレートを置く

水平で安定した場所においてください。

3 水を入れた本体を電源プレートにセットする



本体接続部と電源プレート接続部を合わせてセットしてください。

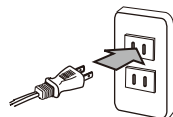


注意

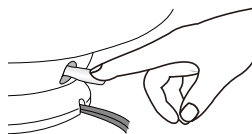
本体接続部や電源プレート接続部に水やホコリなどが付着していないか確認してください。

4 電源プラグをコンセントに差し込む

必ず15A以上のコンセントに単独で差し込んでください。



5 電源を入れる



電源スイッチを下に押してください。
パイロットランプが点灯します。



注意

やけどのおそれあり

- 湯沸かし中や湯沸かし直後に、ふたを開けたり、蒸気に手や顔を近づけないでください。
- 湯沸かし中に湯を注がないでください。

使いかた

—お湯を沸かす(つづき)—

6 お湯が沸いたら

お湯が沸くと、自動的に電源スイッチが切れます。
このとき、パイロットランプが消灯します。



注意

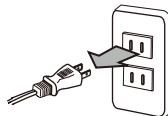
湯沸かし直後は、本体が熱くなっていますので、ご注意ください。

- お湯が沸く前に電源を切る場合は、電源スイッチを上に戻してください。
- お湯が沸騰するまでの時間は、水量・水温・室温などによって異なります。
- ご使用後は、水あかの付着を防ぐため、お湯をケトルに残さないでください。

お知らせ

ケトル使用後、カチッと音がすることがありますが、熱せられた部分が冷めるときに発生する音で、異常ではありません。

7 電源プラグをコンセントから抜く



お手入れ

必ず、電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷めてから、お手入れをしてください。



警告

電源プラグを濡れた手で、抜き差ししないでください。
感電するおそれがあります。

本体外側・電源プレートのお手入れ

- 柔らかい布でふいてください。
- がんな汚れは、やわらかい布に台所用中性洗剤を含ませ、絞ってふいてください。
その後、布に水を含ませ、よく絞って洗剤分をふき取り、さらに乾いた布でふいてください。



注意

- シンナー・ベンジン・漂白剤や磨き粉などを使わないでください。
変色・変質・劣化などの原因になります。
- 本体と電源プレートを水につけたり、丸洗いしないでください。
感電、故障の原因になります。

お手入れ(つづき)

本体内側のお手入れ

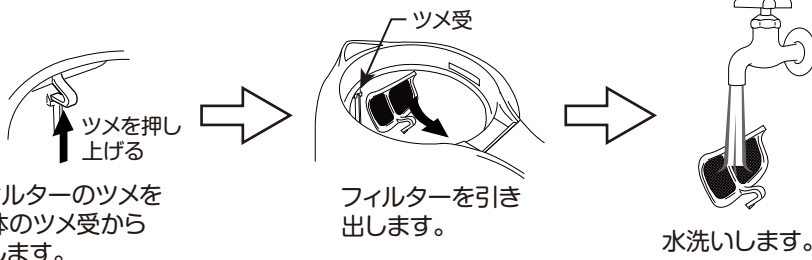
- 水でよくすすぎ、乾いた布などでふいてください。
- 汚れが落ちにくい場合は、次のようにクエン酸などをお使いください。
 - ①水を満水目盛 (MAX) まで入れ、その中にクエン酸を15g程度入れてかき混ぜます。
 - ②ふたを閉めて沸騰させ、約1時間放置します。
 - ③お湯を捨てて、水で十分すすいでください。
 - ④再び水を入れて沸騰させてから、お湯を捨ててください。

※本体内側の白い斑点やさび状の斑点などは、水に含まれるミネラル分の作用によるもので、衛生上問題ありません。

フィルターの洗浄

フィルターが汚れたら、外して水洗いして乾燥させてから取り付けてください。

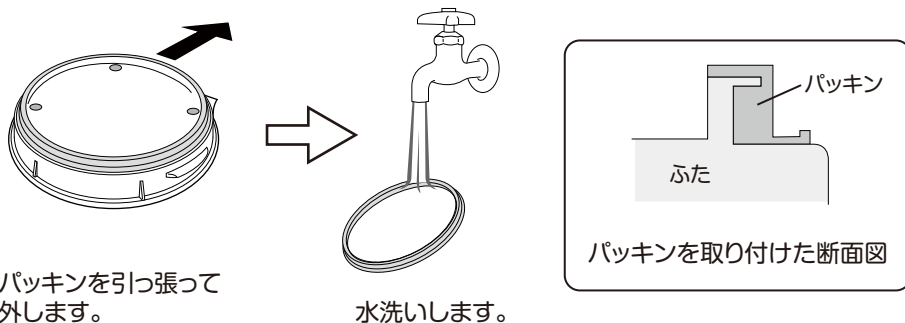
※フィルターは、必ず取り付けてください。フィルターをセットしないとお湯が沸いても電源スイッチが切れないことがあります。



フィルターのツメを本体のツメ受から外します。

パッキンの洗浄

パッキンが汚れたら、外して水洗いして乾燥させてから取り付けてください。



故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に、次の点をお調べください。

作動しない

- 電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。
→電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。

沸騰前に止まる

- 空だきしませんでしたか。
→安全装置が作動して通電が自動的に切れます。
ケトルを電源プレートから外し、冷ましてから水を入れてください。

水がもれたり、ふきだす

- 満水目盛 (MAX) 以上の水を入れていませんか。
→満水目盛 (MAX) 以下に水を減らしてください。
- 水以外の飲料を入れていませんか。
→水以外は沸かささないでください。

お湯がにおう

- 樹脂部分が熱せられることで樹脂特有のにおいがします。
→においが気になる場合は、次のようにしてください。
 - 1.水を満水目盛まで入れて、重曹を15g程度入れてください。
 - 2.よく混ぜて重曹を溶かします。
 - 3.ふたを閉めて沸騰させ、半日程度放置してください。
 - 4.水を捨ててから、水で十分にすすいでください。

上記の点検または処置をしても異常がなおらなかったり、原因がわからないときは、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店へご連絡ください。

こんな症状があったら

- 電源プラグ・コードが異常に熱くなる。
- コードにきずがついたり、触れると動作しなかったりする。
- 焦げくさいにおいがする。



ご使用を中止し、故障や事故の防止のため、必ず販売店にご相談ください。

仕様

電 源	AC100V・50/60Hz	質 量	約830g(電源プレート含む)
消費電力	1200W	本体寸法	約215×150×185mm
電源コード長	約1.0m	最大容量	1.0L

アフターサービスについて

製品の保証について

- この説明書には製品の保証書がついています。

保証書は、お買い上げの販売店で「お買い上げ日」「販売店名」などの記入を受け、ご確認のうえ内容をよくお読みいただき大切に保管してください。

- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。

保証書の記載内容により修理をいたしますが、保証期間中でも有料となる場合があります。

- 保証期間後の修理

お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって使用できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」に沿ってご確認いただき、それでも異常のあるときは、ただちに使用を中止し、お買い上げ販売店に修理をお申しつけください。ご自分での分解・修理は絶対にしないでください。感電やけがのおそれがあります。

補修用性能部品について

この製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後5年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■使いかたやお手入れなどのご相談は下記へ

この商品についてのお取り扱い・お手入れ方法などのご相談、ご転居されたりご贈答品などで、販売店に修理のご相談ができない場合は、右記までご相談ください。

- Eメールでのご相談も受け付けております。その際は商品名・品番・ご相談内容・お名前・お電話番号をご記入の上、ご相談ください。

お客様ご相談窓口

ナビダイヤル  0570-019-700

※PHS、IP電話など一部の電話からのご利用はできません。

受付時間 10:00～17:00(土・日・祝日を除く)

Eメールでのご相談は
info_a@yamazen.co.jp

個人情報のお取り扱いについて

株式会社 山善及びその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

※お問い合わせの際には、保証書に記載の商品名・品番をご連絡ください。